



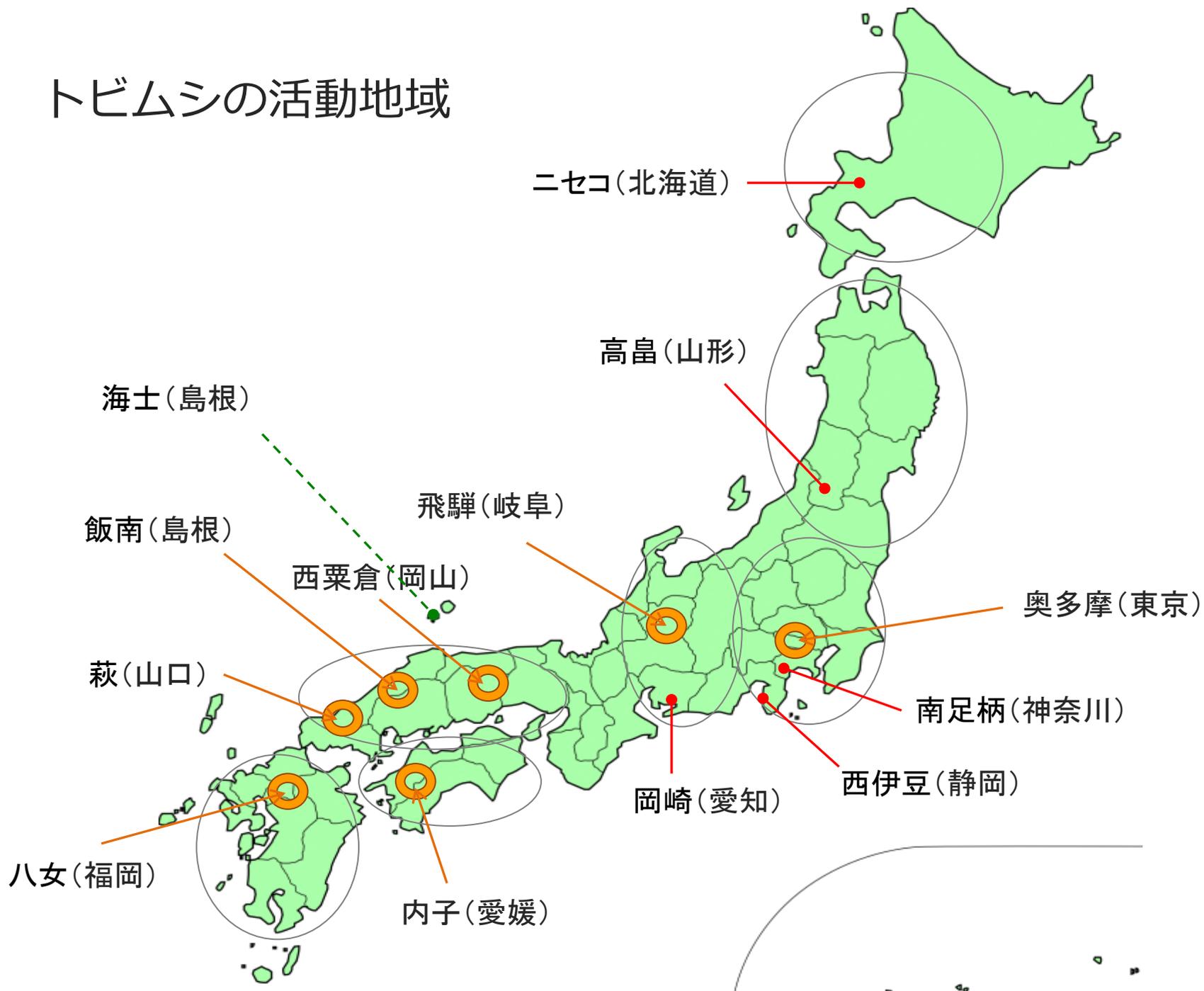
tobimushi
森は地域の宝もの

株式会社トビムシ

tobimushi Inc.

地域の眠れる資産を顕在化させ
森への期待を喚起し
人々の連綿たる想いをつなぎ
世の流れを創造する

トビムシの活動地域



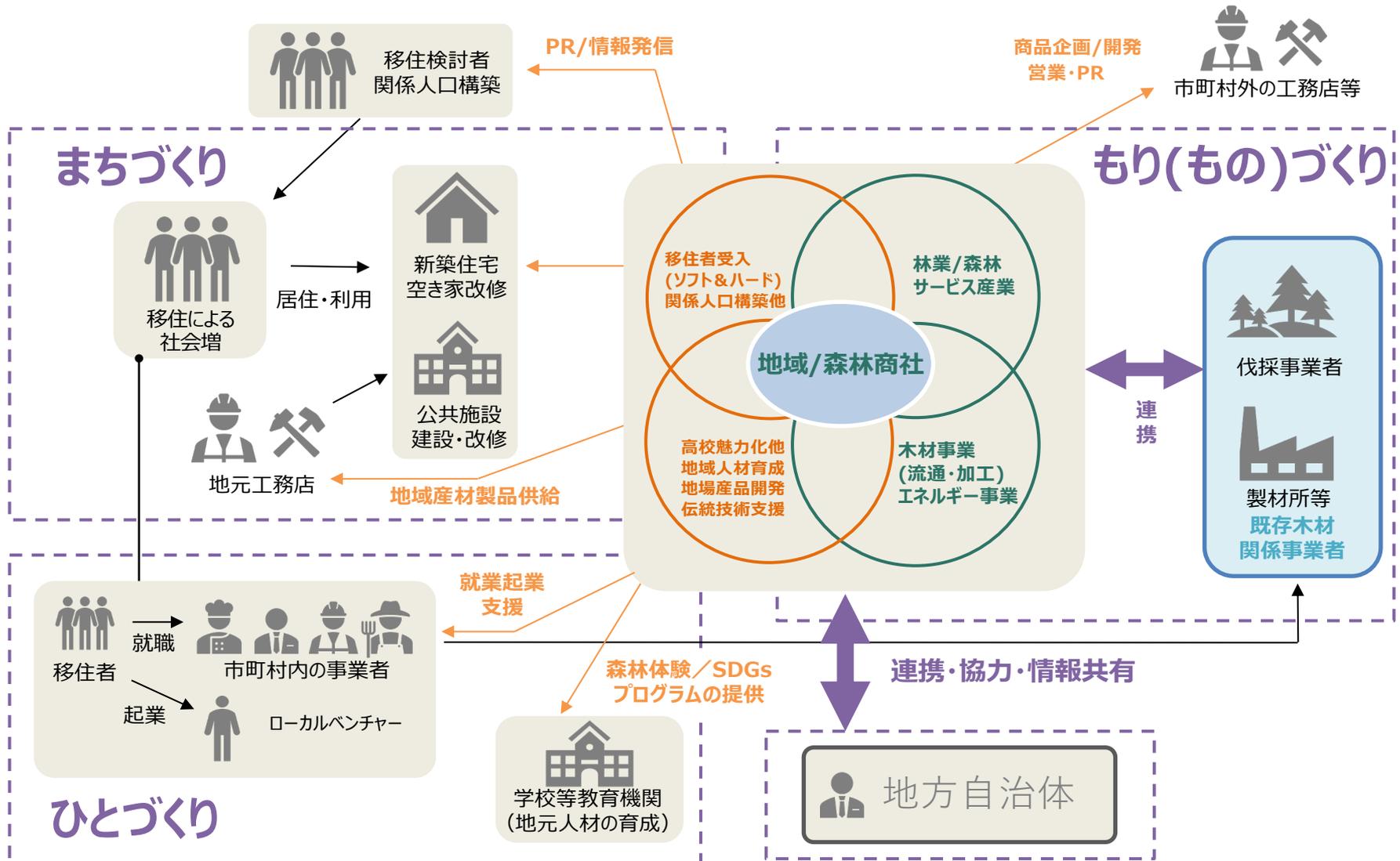
これからの地域(森林)商社:

地域固有の社会構造において(地域の)価値を
長期最適に発現し、**系を閉じることなく、地域の持続
可能性を高める**ことを目的とする組織(的運動)体

令和における(地域の)価値:

気候危機の下、ポスト近代産業資本社会の
構造下において、**経済活動に限定されることなく**
地域の持続性を保持するに必要不可欠な要素

もり(もの)づくりを起点に、まち(地域)づくり・ひとづくりへ



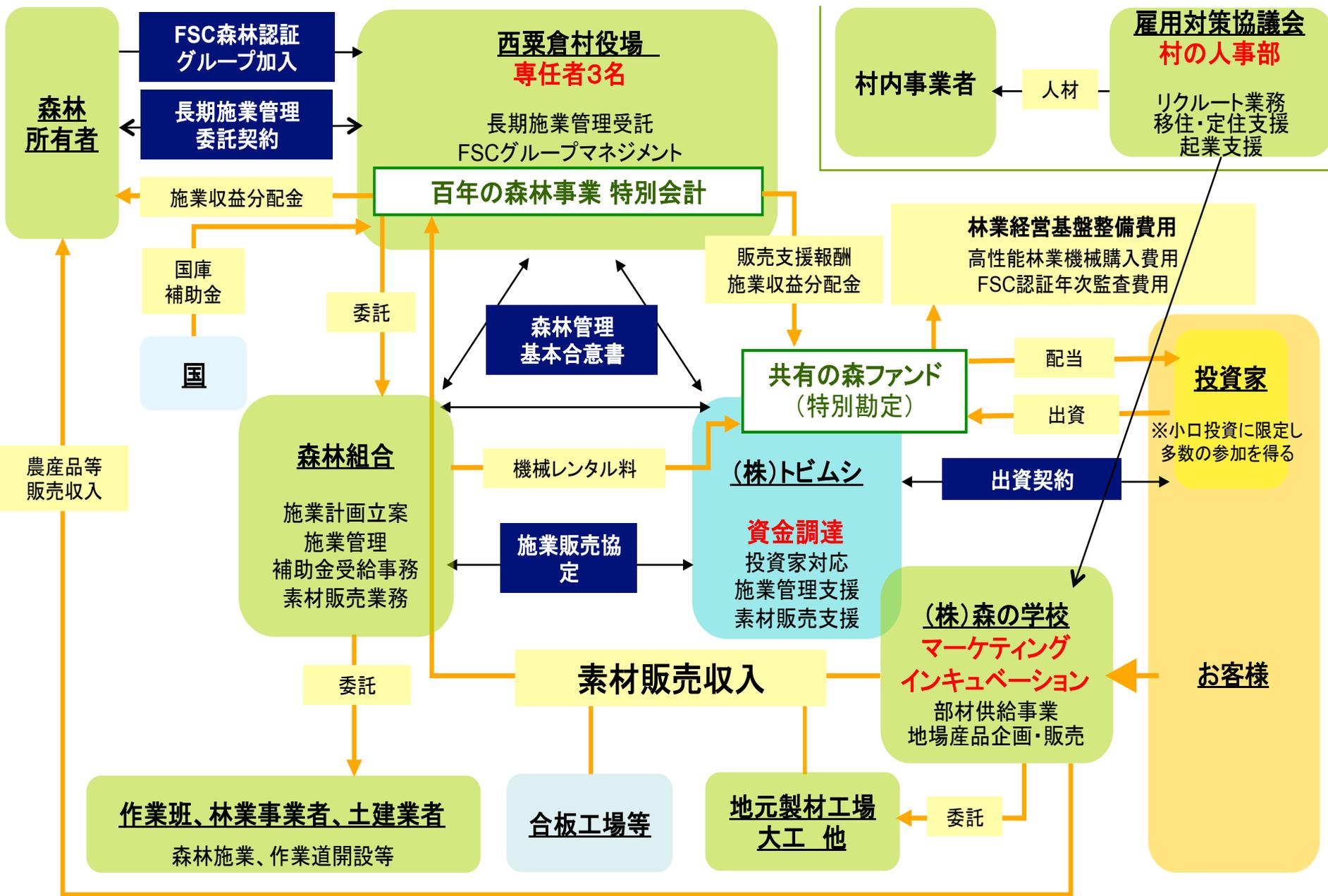
トビムシの考えるこれからの地域の在り様

- ・自然を基(起)点とした自然な域内(周辺)価値循環
- ・外に閉じない関係性(構築)体系
- ・共同体(自治)感覚に基づく「動的平衡」の体現

投資に係る参考資料

マイクロ・ファイナンス(クラウド・ファンディング)による投資事例

<例1-a: 西栗倉の場合2009>



官民ファンドによる投資事例：1

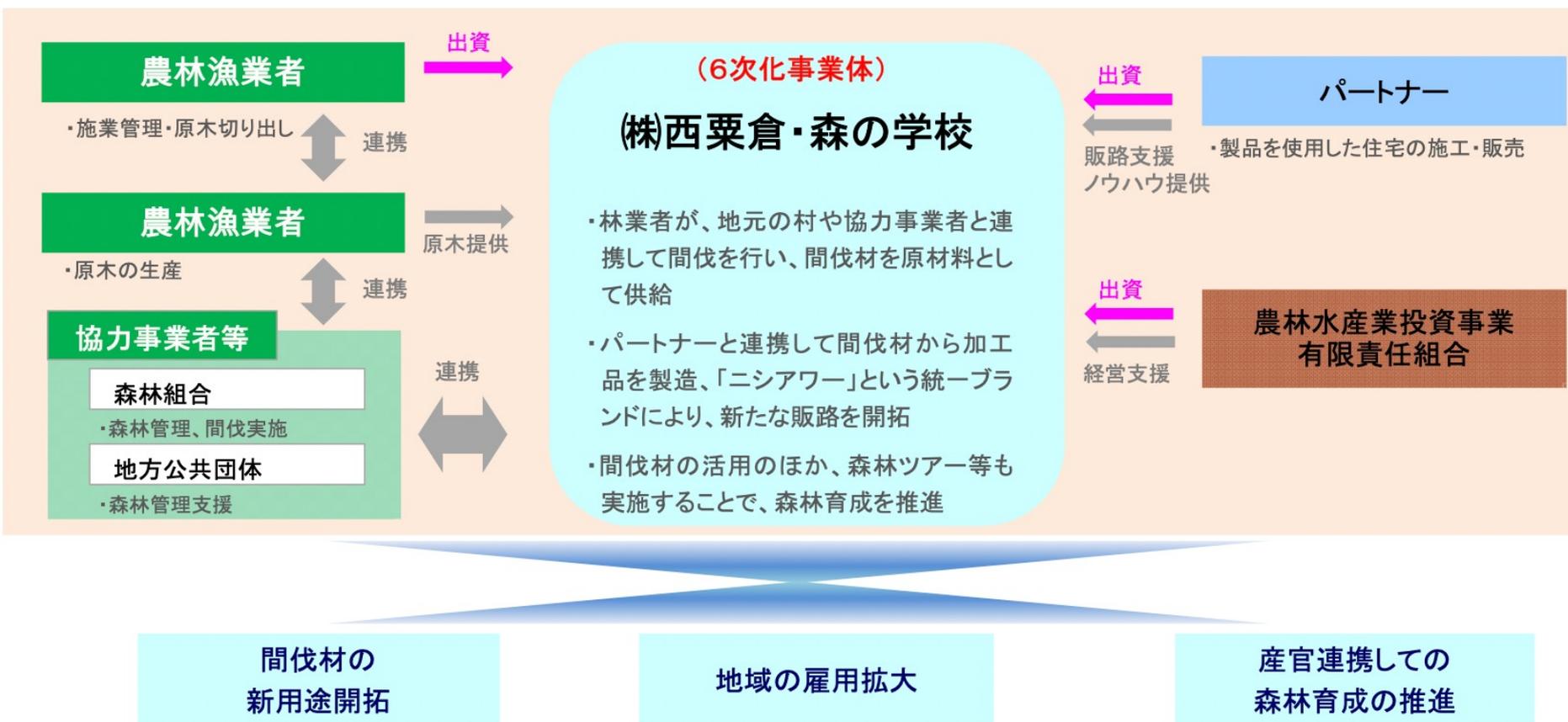
<例1-b:西栗倉の場合2014>

出資同意案件（平成26年5月12日 同意決定）

地元自治体（西栗倉村）と連携した間伐材による住宅部材等の製造販売プロジェクト

林業者が、住宅の施工・販売実績のあるパートナーの販路・ノウハウを活用し、西栗倉村の間伐材を原材料とした加工品を製造、販路拡大を推進することで、バリューチェーンを形成し、間伐材の付加価値向上を目指す事業

事業者：株式会社西栗倉・森の学校 所在地：岡山県英田郡西栗倉村
出資決定時期：平成26年5月 出資決定額：163.3百万円 サブファンド*：農林水産業投資事業有限責任組合



*「株式会社農林漁業成長産業化支援機構法」に基づき、機構が地域金融機関等と組成。機構が50%を出資。

官民ファンドによる投資事例2

<例2:内子の場合2020>

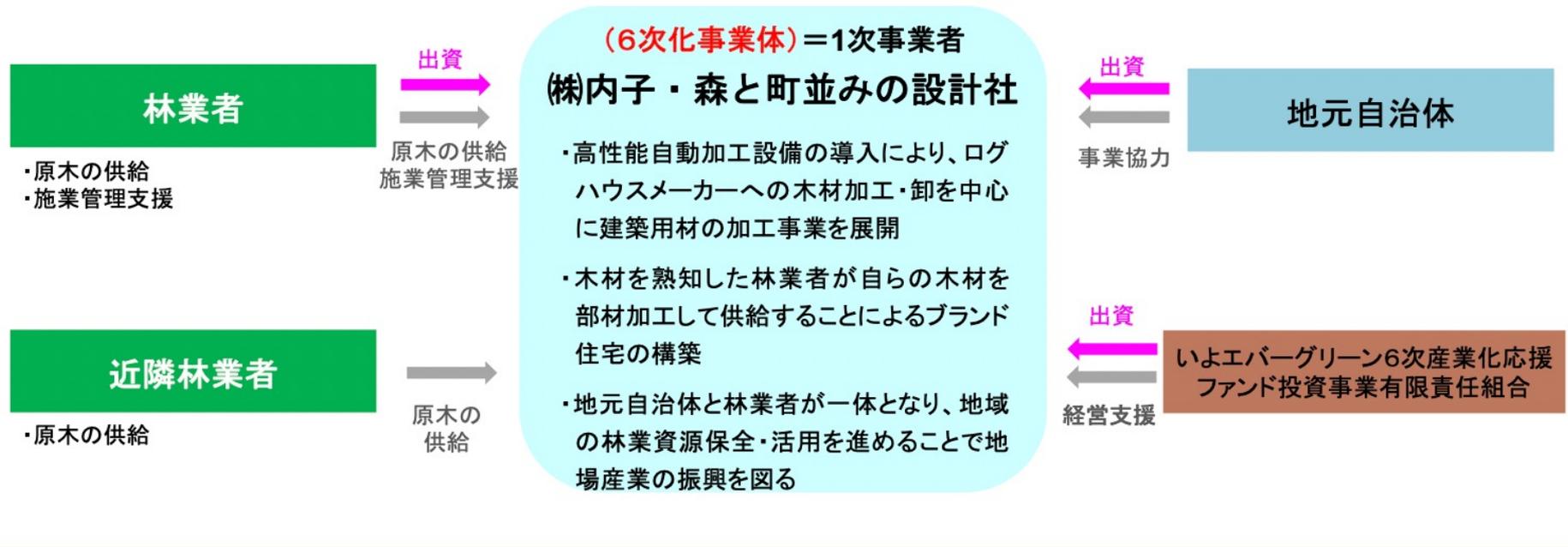
出資同意案件(令和2年4月22日 同意決定)

住宅用部材製造・販売、木造住宅・建設・販売プロジェクト

愛媛県の林業者が生産する原木を活用し、ログハウス用部材の製造・販売、木造住宅の建設・販売することで、原材料の付加価値向上を目指す事業

事業者:株式会社内子・森と町並みの設計社 所在地:愛媛県喜多郡内子町

出資決定時期:令和2年3月 出資決定額:80百万円 サブファンド*:いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド投資事業有限責任組合



地域林業者の所得向上

地域の雇用拡大

原材料の付加価値向上

*「株式会社農林漁業成長産業化支援機構法」に基づき、A-FIVEが地域金融機関等と組成。A-FIVEが50%を出資。

森林に対するエクイティ・ファイナンスの意義と可能性

エクイティ・ファイナンスの意義 (融資や補助金他と異なる視点)

- ① 資金使途に対する(一定の)自由裁量
- ② 短中期の資金繰りへの影響の無さ(BSの健全化)
- ③(②ゆえの)デット・ファイナンスの併用可能性

→がゆえに、(融資や補助金他の活用と異なり)

中長期的視座における最適な投資実行が可能

→がゆえに、短期回収が難しいと言われる、林業・
木材産業に望ましい資金調達手段といえる

森林に係る脱炭素的価値(の可視)化への期待可能性

- ① 事業収入源増(≒収入増)の可能性
- ② ステーク・ホルダーによる中長期的コミットメントの獲得
- ③ (②ゆえの)ステーク・ホルダーによるその他支援可能性

→がゆえに、(事業そのものや補助金収入と異なり)

中長期的視座における最適な事業遂行が可能

→がゆえに、短期回収が難しいと言われる、林業・

木材産業に望ましい方向性(施策)といえる